

災害なんかに負けない地域をつくろう！

北区城北学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、城北学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所などについて話し合い、作成したものです。
この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

パソコンやスマートフォンでも
防災マップを見ることができます。
<http://www.platform.or.jp/map/sp/4/164/>



役に立つもの

地下式給水栓

地下式給水栓は、災害時に地域のみなさまが自ら操作をしていただくことで、飲料水を確保することができる災害用のじゃ口です。



下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。
避難所のトイレ不足を補います。



コンビニエンスストアなど



このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

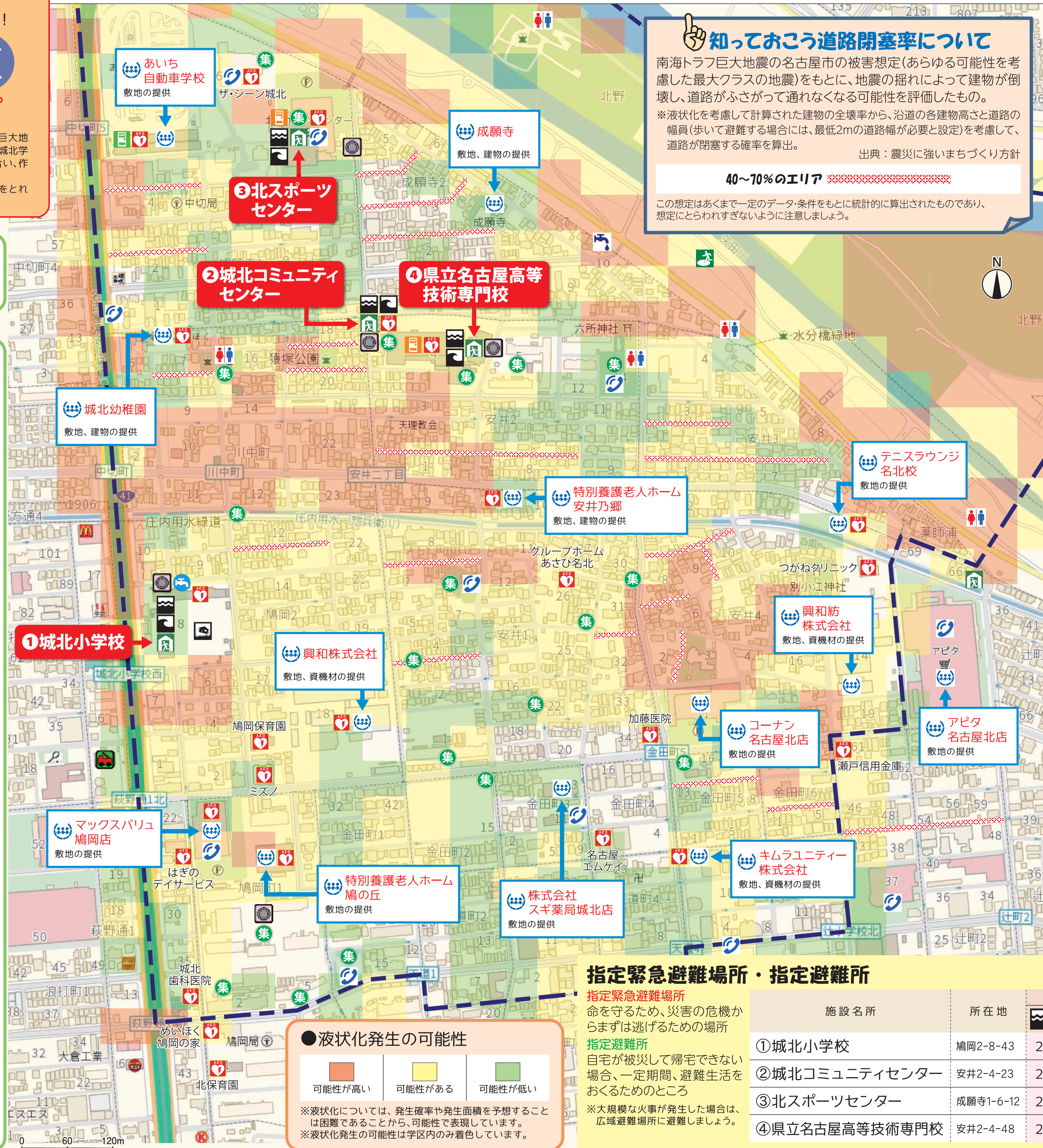
地域防災協力事業所



災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。



知っておこう道路閉塞率について

南海トラフ巨大地震の名古屋市の被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震)をもとに、地震の揺れによって建物が倒壊し、道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したものです。
※液状化を考慮して計算された建物の全壊率から、沿道の各建物高さや道路の幅員(歩いて避難する場合には、最低2mの道路幅が必要と設定)を考慮して、道路が閉塞する確率を算出。

出典：震災に強いまちづくり方針

40~70%のエリア

この想定はあくまで一定のデータ・条件をもとに統計的に算出されたものであり、想定にとらわれすぎないように注意しましょう。

自治会の一時集合場所

自分の自治会の集合場所を記入しておきましょう

気を付けて!!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀

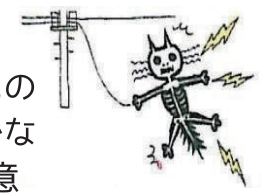
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

4. 電線(高圧線)

切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかない。また、高圧線の落下にも注意



5. 瓦屋根

大きな揺れの際には危険。瓦屋根のある家屋に住んでいる人は、あわてて外に飛び出さない

●凡例

一時集合場所	大きな災害がおこった時、地域での安全確認や情報収集、初期消火・救助活動などの指揮場所です。
指定緊急避難場所(洪水・内水氾濫)	指定緊急避難場所(高潮)
指定緊急避難場所(地震の揺れ)	地域防災協力事業所
指定避難所	広域避難場所
公衆トイレ	下水道直結式仮設トイレマンホール
公衆電話	AED(自動体外式除細動器)
消防署	災害用自動販売機(災害救援ベンダー)
地下式給水栓	災害用自動販売機(非常時ライフラインベンダー)
応急給水施設	学区境

指定緊急避難場所・指定避難所

指定緊急避難場所

命を守るため、災害の危機からまずは逃げるための場所

指定避難所

自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活をおくるためのところ

※大規模な火事が発生した場合は、広域避難場所に避難しましょう。

●液状化発生の可能性

可能性が高い 可能性がある 可能性が低い

※液状化については、発生確率や発生面積を予想することは困難であることから、可能性で表現しています。
※液状化発生の可能性は学区内のみ着色しています。

北区城北学区 災害時の特性と対策

城北学区では、**震度6弱から6強**の揺れが起こる可能性が想定されています。まずは身を守りましょう。そのため、日ごろから家具の転倒防止などの耐震対策を実施しましょう。

火災が発生した場合は、燃えて倒壊する建物が道を塞いだり、強い熱風が吹き荒れる懸念があります。

また、**液状化現象**が起こる可能性が高い箇所もあり、建物が傾いたり、泥水が溢れだし道を通ることができなくなる可能性があります。これらのことを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応

激しい揺れ

- 頭を守り、倒れるもの・動くものから離れる
- 揺れがおさまるまで体を低くして動かない
- 避難口をあける



すぐに家から飛び出さない
冷静に!!

揺れがおさまった

- けがをしないように靴やスリッパを履く
- 家族の安否確認、自宅の被害状況の確認
- 火の元の確認、出火したら初期消火
- 非常持出品の準備

- テレビ・ラジオ・スマートフォンなどから正しい情報入手
- 電気のブレーカーを落とす、ガス・水道の元栓をしめる



隣近所で
安否確認・救助

- 火災が起きたら、隣近所で協力してすぐに消火しましょう
- 組の皆さんで協力して安否確認をしましょう(高齢者や障害者の安否確認)
- 救助が必要な人を見つけたら、周りに声掛けをして助けましょう

災害や避難に備えて、普段から準備・点検しておきましょう

備蓄品の例 災害に備えて用意しておきたいもの

**命をつなぐために
用意しておきたいもの**
(自分が食べやすいもの)
□保存がきく食品
□常備薬(持病の薬を含む)
□飲料水(ペットボトル)
1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分
程度用意
しましょう

防災用品

- 給水用のポリ容器・バケツ
- ロープ
- バール
- のこぎり・工具など
- ドライシャンプー

燃料

- カセットコンロ(予備のボンベ含む)
- 固形燃料
- 毛布
- 寝袋
- キャンプ用テント

非常持出品の例 避難する時に持っていくもの

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット
- 防災ずきん
- 軍手
- 現金(小銭も必要)
- 預(貯)金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

照明等

- 懐中電灯(電池含む)
- マッチ・ライター
- 三角せん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒液
- ウェットティッシュ(ティッシュ)
- お薬手帳

便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯トイレ
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話
- トイレット
- ペーパー

感染症
対策用品

- アルコール消毒
- スリッパ
- 体温計
- マスク
- ゴミ袋

その他(個人的に必要なもの)

- ミルク(粉・液体)
- 紙おむつ
- 生理用品
- 予備のメガネ・補聴器など
- ペット用品(エサ・水など)

一時集合場所へ
集合

- 各自治会の一時集合場所へ集合し、自治会長に安否確認の状況や被害状況を報告
- 救助活動や一人で避難することが難しい方の避難誘導に協力



付近で火災等
の危険発生

危険がなくなったら
自宅での滞在が可能か

在宅避難

指定避難所

火災からの避難

- 火災が延焼拡大した場合は、広域避難場所などの身を守ることができる場所へ避難
- 火災を避け、風上に逃げる
- 倒壊家屋が道を塞ぎ、火災が延焼するので注意



余震からの避難

- 周りに倒壊しそうな建物がない小中学校のグラウンドなどの広い空地へ避難
- 建物の倒壊等注意到意



自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

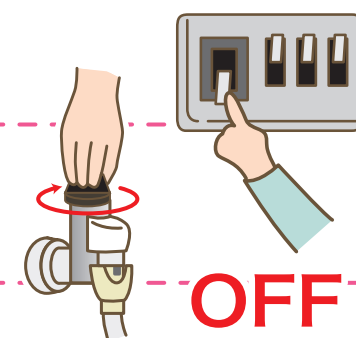
避難所では不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋崩壊などの危険がない場合は、自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう

- 災害救助地区本部(城北小学校)に在宅避難を知らせよう!
- 周囲で声掛けし、助け合おう!



城北学区 避難のルール

- 1 地震が発生し、被害がなければ「大丈夫ですか」(わが家は無事です)カードを玄関の分かりやすい場所に掲示しましょう。
- 2 避難の際はガスコンロやストーブなどの火の元を確認し、ガスの元栓を閉めて、電気ブレーカーを落として避難しましょう。
- 3 火災を見つけたら声を掛け合い消火しましょう。ただし大規模な火災の場合は無理をせず、火災延焼の危険が無いところへ避難しましょう。
- 4 自治会ごとの一時集合場所へ集合しましょう。日ごろから、各世帯で避難する場所を確認しておきましょう。
- 5 組の皆さんで協力して安否確認を実施しましょう。
- 6 安全な避難路を通して避難しましょう。
- 7 城北小学校に災害救助地区本部を設置して、行政との情報伝達を行います。被害の状況などを災害救助地区本部に連絡してください。
- 8 指定避難所は余震に対しての建物の安全を確認し、通路や支援が必要な人の場所を決めてから開設します。



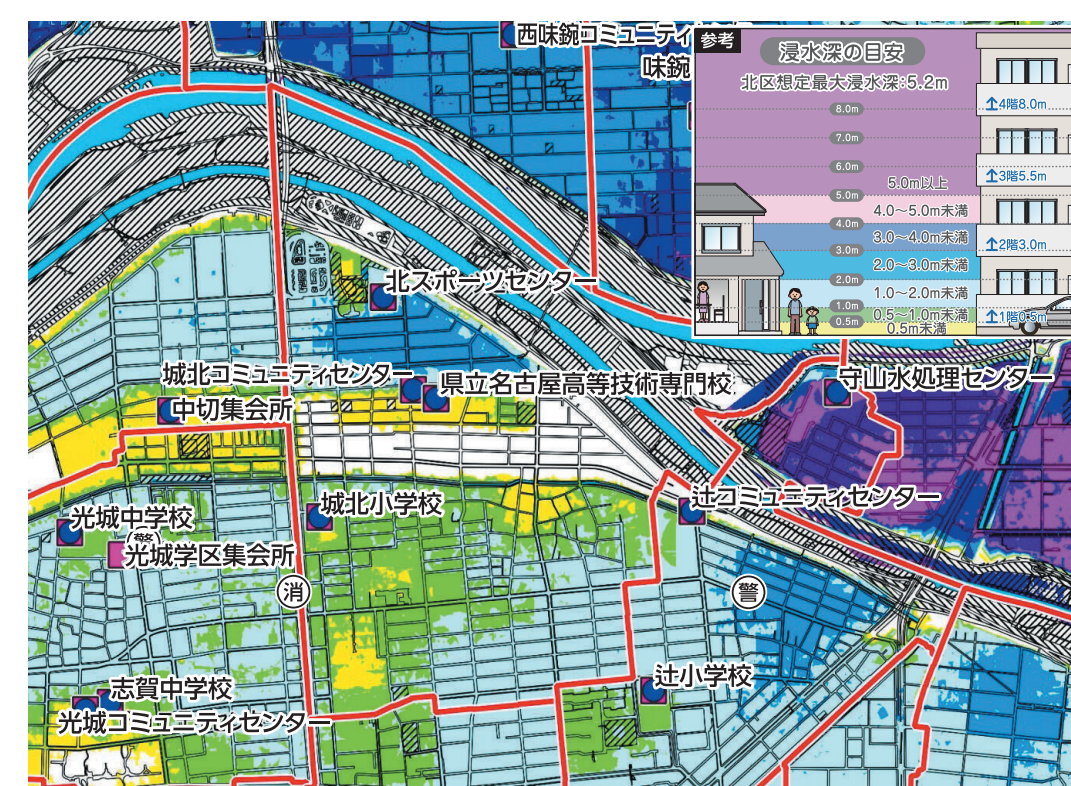
水害についても把握しておきましょう

洪水時の浸水の危険性

洪水とは…大雨によって河川の水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすること

避難に関する情報が変わりました

避難勧告を廃止
避難指示に一本化



城北学区は、北部で2.0～3.0m未満の浸水想定がされています。これは、おおそ建物の1階部分がすべて水に浸かる恐れがあります。平成12年に発生した東海豪雨や平成20年8月末豪雨等でも城北学区の一部が浸水した実績がありますので、日頃からの水害への備えやご自宅から避難可能な指定緊急避難場所を確認しておきましょう。

最大浸水度	凡例
5.0m以上	指定避難所
4.0m以上～5.0m未満	指定避難所兼指定緊急避難場所
3.0m以上～4.0m未満	指定緊急避難場所
2.0m以上～3.0m未満	消防署・出張所
1.0m以上～2.0m未満	警察署・交番
0.5m以上～1.0m未満	河川・池等
0.5m未満	公園
□ 浸水なし	鉄道
	河川敷

※令和4年3月広報なごや特集号として風水害の新ハザードマップが配布されています。上記の前ハザードマップと見比べて浸水深の変化を確認してみましょう。